

祝 全国大会出場

わだい ①

7月1日、第11回山形県小学生ティール大会が山形市で行われ、舟形ビッグサンダーズが見事優勝し、全国大会への出場を決めました。この大会は、小学4年生以下の少年少女でつくられた県内32チームによって行われ、熱い戦いが繰り広げられました。

全国大会は、8月21日にメットライフドーム（埼玉県）で開催されます。



縄文文化を体験

わだい ②

7月8日、歴史民俗資料館で縄文体験講座が開催され、舟形焼わかあゆ薫風窯の金寛美さんを講師に迎え、親子ら18名が縄文土器づくりを体験しました。参加したみなさんは、なかなか思い通りにならない粘土に悪戦苦闘しながらも、オリジナル土器を完成させていました。

また、同日、紙芝居作家の折原由美子さんによる縄文の女神にまつわる手作り紙芝居「輝く舟形、縄文の女神」の披露もありました。



わかあゆ塾開講

わだい ③

7月10日、舟形中学校で舟形町放課後わかあゆ塾の開講式が行われました。これは放課後を利用し、子どもたちの学力向上を目指すもので、小学5・6年生と中学生の希望者が対象です。特に、小学生は算数、中学生は数学について、個人に合わせたレベルアップのための基礎コースと応用コースを設置しています。

なお、指導等は(株)プランニングドアーズに業務委託していて、来年の3月まで行われる予定です。

夏の日の贈り物

わだい ④

7月14日、舟形ほほえみ保育園でスマイル・サマーフェスティバルが開催され、親子で思い出をつくろうと、年長児と保護者など約100名が参加しました。おもちゃ屋さんなどの縁日コーナーで楽しんだり、スキップリレーゲームなどのゲームで絆を深めるなどし、笑顔の絶えないひと時となりました。

また、終わりには夜空に花火が打ち上げられ、ひととき大きな歓声が上がっていました。



未来の地域のために

わだい ⑤

7月7日、幅コミュニティセンターで町長、副町長及び課長等と幅町内会との、まちづくり意見交換会が行われました。高齢化が進む中での公共交通のあり方や、農業後継者問題などのテーマで話し合われました。この意見交換会は、6月にも西又町内会で行われ、協働のまちづくりについてや災害対策などに様々な意見が出されました。

町では、意見交換をしたいテーマがある町内会を募り、今後も開催していく予定です。



めがみで夏まつり

わだい ⑥

7月17日、舟形町観光物産センターめがみ（舟形駅）で夏まつりが開催されました。たこ焼きや焼きそば、スーパーボールすくいや水風船のヨーヨーなど、おまつりの定番の模擬店のほか、笹の葉に飾る短冊作りや、せんべいに絵を書いたりなどの珍しい催しも行われました。

子どもから大人まで約70名の方が来場し、舟形駅が大いににぎわいました。観光物産センターめがみでは、今後も憩いとにぎわいのイベントを行なっていきます。



6/12 元名誉町民 故伊藤茂氏
舟形中学校に寄付



▶舟形中学校図書室の「未来を拓く文庫」に500万円を寄付していただきました。

7/9 長沢地区交流会
楽しく和気あいあいと



▶生涯学習センターで、約80名がグラウンドゴルフや舞踊などを楽しみました。

7/7 農林漁業体験実習館
美味しいワインを音楽とともに



▶約40名の方がソムリエが選んだワインと音楽を楽しみました。

7/4 西堀地区
イバトミヨ観察



▶縄文里の会の方を講師に、舟形小4年生がイバトミヨについて学びました。

7/1 伊藤美喜子さん（内山）
人権擁護委員に委嘱



▶法務大臣から町の人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年です。

6/29 梅酒づくり会（生涯学習センター）
オリジナル梅酒



▶楽しく交流しながら、それぞれ好みの味になるようにと作っていました。